

ガイドと巡って戦国ロマンを感じよう！ ボランティアガイド

ボランティアガイドが苗木城跡や苗木遠山史料館をご案内します。ガイドと巡ると見落としがちなスポットや歴史的な裏話が聞け、さらに楽しめます。

- 所要時間
50分～ご要望に応じて
- 利用料金(協力金)
個人(9名以下) 500円
個人(20名以下) 1,000円
観光バス1台につき 2,000円
- その他
苗木遠山史料館へ事前予約が必要です。
12月中旬～2月は冬期休止となります。



苗木城跡のお土産物も販売！

苗木遠山史料館では、苗木城跡に関するお土産物や資料集なども販売。来城記念にいかがですか。



苗木城跡御城印



御城印帳



苗木城跡資料
「城山と歴史」



赤壁伝説絵巻



昇龍クッキー

苗木城
復元模型

苗木遠山史料館

〒508-0101 岐阜県中津川市苗木 2897-2
TEL 0573-66-8181

- 入館料
個人 330円、団体(10名以上) 270円
※中学生以下は無料
- 開館時間
9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日
毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



アクセスMAP



感染症対策のため、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いいたします。

2020.10

国指定史跡

苗木城跡

案内ガイド

続日本
100名城

山紫水明の絶景を望む

巨岩に築かれた山城

イメージ CG：浅野孝司氏制作

苗木城跡は中津川市内を東西に流れる木曽川の右岸、一段と高くそびえる山にあります。木曽川から山頂の天守跡までは、標高差約170メートル。急峻な地形を活かして築かれた山城です。苗木城の城主は遠山氏。戦乱の時代から明治維新まで苗木領を治めました。現在は天守跡に展望台が設けられ、恵那山や木曽川をはじめ中津川市街を360度見渡すことができ、美しい景色が見ものです。

国指定史跡 苗木城跡

苗木城は、苗木遠山氏により戦国時代(1526年頃)に築城されました。

遠山氏は、織田氏・武田氏と縁戚関係を結び勢力を広げますが、本能寺の変の後、森氏に城を追われます。徳川氏に身を寄せ、関ヶ原の戦い前に家康の指示で苗木城を取り戻しました。この功績により、苗木領1万521石の大名となり、以降明治4(1871)年の廃城に至るまで約270年、12代にわたり遠山氏が治めました。

昭和56(1981)年に貴重な近世城郭であるとして「国史跡」に指定され、平成29(2017)年には「続日本100名城」に認定されました。

苗木遠山史料館

苗木城跡のふもとにある史料館では、苗木城の唯一残存する建築物である「風吹門」と言い伝えられている門扉や、遠山家に伝わる武具などが展示されています。また「苗木城復元模型」は、建物の様子や縄張りがよくわかり、史料館を見学してから苗木城跡を訪れると、往時の雰囲気を感じることが出来ます。

※入館に関する詳細は裏表紙をご覧ください。

武具



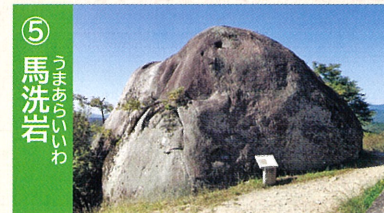
伝 風吹門



苗木城跡 案内図



① 大矢倉
三階建ての大きな矢倉。御堀小屋とも呼ばれていました。



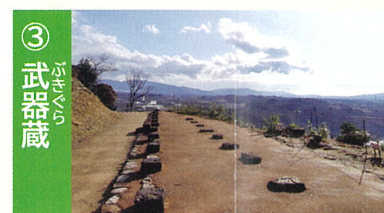
⑤ 馬洗石
この岩の上に馬を乗せて洗ったと言い伝えられる、周囲 45m 程の自然石です。



② 千石井戸
天守近くにある井戸です。今でも水が湧き出ています。



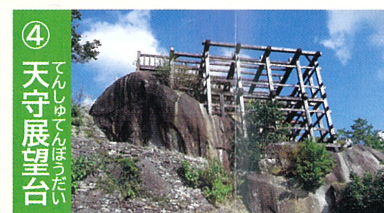
⑥ 笠置矢倉
笠置山に向かって設置された物見矢倉です。絶景が楽しめます！



③ 武器蔵
鉄砲や弓等の武器蔵で、礎石や縁石は当時のまま残されています。



⑦ 八大龍王
遠山家の守り神。明治時代に現在の場所に据えられました。



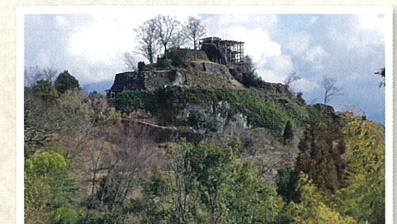
④ 天守展望台
天守の柱があった穴を再利用した展望台からは、美しい景色が見渡せます。



⑧ 二の丸
領主遠山家の住居や家臣が集まる部屋がありました。

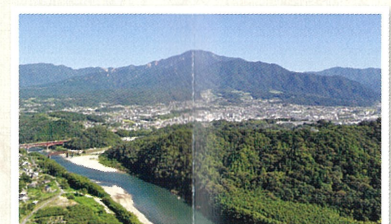
View Point あしがるながや 足軽長屋からの眺望

かつては、足軽の長屋(詰所)があった場所。天守跡と恵那山を同時に望め、写真撮影にオススメです。



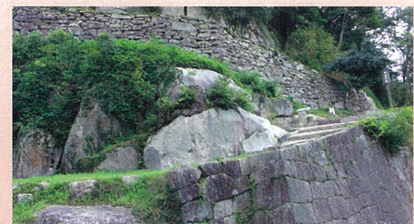
View Point 天守展望台からの景色

天守があった場所に建てられた展望台からは、木曽川や恵那山、中津川市街が見渡せ、絶景が楽しめます。



自然石を利用した石垣

天然の巨岩を利用して構築された石垣は全国でも大変めずらしいもの。大矢倉などで岩を抱きかかえるように積まれた石垣をみることができます。また、年代によって異なる技法で積まれているのも見ものです。



のづらづ 野面積み A

大きさの違う自然石を積み上げて作られています。技術的には初期の石積方法で、戦国時代によく使われた技法です。

きりこみは 切込接ぎ C

石を平刀状の工具で削って調整し、石同士の隙間を極力小さくしながら積み上げています。江戸時代初期以降に用いられました。

うちこみは 打込接ぎ B

石同士が接する部分を打ち欠いて平にし、隙間に間詰石を詰めながら積み上げています。野面積みより高く急な勾配が可能です。

たにづ 谷積み D

平石同士の間の谷部分に、隅を立てた平石を落として積み上げています。この積み方は、昭和期まで道路工事などでも使われました。